

**ご紹介ください
新会員募集中!!**

本荘ふるさと会の発展と充実を図るために新会員を募集しております。
本荘出身首都圏在住者をご紹介ください。

お問い合わせ
本荘ふるさと会事務局



本荘ふるさと会会報 第36号



編集・発行
本荘ふるさと会編集委員会
題字 後藤竹清



**偶然の中に
ふるさとの人が**

本荘ふるさと会会長 池田 哲三

私はふるさとを離れ、上京して五十年になる。学生時代の一・二年は目黒区(鷺番町)に住み三・四年は新宿区(下落合)、中野区(上高田)。社会人になって、中野区(打越町・沼袋)、練馬区(桜台・南田中)に住んだ。結婚して子供が生まれ借家から都営住宅に当選し、入居した時の喜びは今でも忘れられません。

そして転勤で大阪(豊中市)、名古屋(千種区)に移り、そ

して初めて小さな家を所沢市に購入し、義母と妻と子供三人の六人家族で楽しい生活を

した時は狭いながらも我が家

と思いました。結婚生活当初

は、かぐや姫の南こうせつの歌(神田川)ではないが四畳

半一間で、風呂はなく銭湯に行き、子供を女湯、男湯に交

互に入れ、回りの大人の人達

に赤ん坊の入浴の仕方を教わつたり、冷や汗をかきながらの

子育てであった。その土地、

土地で人と出逢い、お世話になりました。思い出はつきま

せん。そして昭和五十三年国

分寺に土地を購入し、注文住

宅を建て、三十三年、住めば

都であり、割合環境にも恵ま

れ、第二のふるさととして今

に至っている。定年後、二年

前から国分寺市(五ヶ所の公

民館あり)の光公民館で臨時

会員として(月/十日間位)

お世話になっています。今年

の四月秋田市の小学校を卒業

した好青年の職員が配属され

て来ました。時に仕事の合間に

に秋田の話をすることが出来

て、心が和みます。第二回目

の由利本荘ふるさと会連合会

の集いで、西目高校東京同窓

会会長岩月芳弘氏、由利工業

高校東京同窓会会长畠山敏也

氏両氏が国分寺にお住まいに

なっていることがわかりまし

た。秋田商業雄水会の前会長

佐藤聰明氏が国立市、ふるさ

とにかほ会会長佐々木正司氏

が立川市に、隣接の市や近郊

に同郷の人達が住んでいる事

は、何かの運命を感じる驚き

である。國分寺駅前には矢島出身の

小野ヨシさんが「ぎりたんぽ」

の屋号で小料理店を経営していることでも有名である。偶然

とはいえたのふるさとで、

少年野球では矢島中学校ナイン

が昨年に続き県大会で準優勝し、サッカーでは由利中学校

が全県制覇に続き東北大会

も制覇して初めて全国大会へ

出場するなど、市民が一丸となつて応援し、地域間を越え

た一体感を感じることが出来

ました。

ふるさと由利本荘は、開学

十周年を迎えた県立大学を中

心とする学園都市として、ま

た一つ感を感じることが出来

ました。

ふるさと由利本荘は、開学



七月十一日、楽しみにしていた当日です。心配していた天候も晴、十二時ごろ自宅を出て、新幹線で東京へ。桜木町駅には十五時ごろ着き、待ち合せ場所で友だちと合流し、「ふかり桟橋」へ。早めに着いたと思ったのですが桟橋にはかなりの方が待つておられました。乗船の時間までかなりあつたのですがそこで次々とこられる参加者の方と挨拶、会話、ここからもう会が始まりました感じでした。そして会いたかった旧友と五十年ぶりの再会。乗船後たまたま同じテーブルになつた人が同級生、しかも同じクラスの人であったことなど会話がはずみました。また同席した若い方との本庄の話など、「ふるさと会」な

約五十年以上ほどんど一本
莊」と没交渉だった私がこの
会に参加したことで記憶の奥
にしまいこんでいた昔の出来
事を思い出し、中高時代の自
分を改めてみつけた感じがし
ました。さらに最後には「す
てきなおみやげ」のプレゼン
トまで用意され、幹事の方の
心配りが伝わってきました。
できることなら来年も又参加
したいと思いつながら帰路につ
きました。ひと夜、楽しく過
ごさせていただきありがとうございました。

らではの雰囲気を楽しみました。宴会が盛り上がりつたときカラオケも始まり、司会の松本幸江さんの本庄弁もなつかしく、またたく間に時間がすぎた感じがしました。時にはデッキにあがり、ベイブリッジ・みなとみらいなど横浜の夜景をながめ、夜風にあたりながら、昔にもどった感じでした。

に平成二十年度の納税の詳細報告があり、全体で八百三万円の納税が集まり、その内の三百万元を「さくら満開のまちづくりグランドデザイン」による市全域への桜の苗木の植栽及び維持管理費用として、活用する旨の報告があり、一つの社会貢献が出来たと思い、今年も納付しようと思つてゐるところです。この事業も、五年から五十年の長

力 によれば先づ敵よ

あるさと納税について

代表取締役 佐々木 健治郎

ふるさと納税について

離れて活躍されている人達へ、故郷を
一年に秋田米を一俵購入して
もらう運動を展開することに
より、米の自給率九十四%は
百分達成されるし、不耕作地
には、自給率五%の大豆や、
十四%の麦などを生産する事
により、全体の自給率も向上
すると確信します。

本荘の殿様六郷氏は、當時は常陸府中とよばれていた茨城県石岡市から來た殿様です。関ヶ原合戦のあと、天下の覇者となつた徳川家康は、全国的な大名の配置替えを行つた。常陸の王者佐竹氏は久保田（秋田）に左遷減封された。佐竹に対する抑え役として山形の最上氏には由利郡一帯が加封された。最上氏の重臣橋岡豊前守が由利統治のために派遣され、やがて本荘に築城した。同じころ仙北郡六郷の豪族六郷政乗は大名に取り立てられ、常陸府中に一万石を与えられた。

国替えは続けられ、ほどなく山形の最上氏が失脚、そのため豊前守は本庄から退去、由利郡は分割され、本荘には常陸府中から六郷政乗が所領を倍増されて元和九年（一六二三）入部した。それから十一代約二百五十年間の支配が続く。常陸府中は明治二年（一八六九）石岡藩と改称、現在は人口五万人余の本荘と大差のない市です。『本荘市

正岡子規は明治三十五年に三十六歳の若さで病死した。夭折の九年前、明治三十六年七月に、子規は芭蕉の足跡をたどるかのよう、松島・角鶴をを目指して奥州へと旅立つた。遊佐方面から酒田道を歩き西目を過ぎて本荘に着いたのは夜で旅館からは一見の客であるため宿泊を拒まれた。警察で身分を保証してもらいやつと一軒のむさ苦しい宿に落ち着いた頃は夜も更けわたっていた。八月十一日の事で、翌朝十二日に朝市との並ぶ大町の通りを眺めながら子規は旅立つた。現在大町にその朝詣まれた子規の句碑が残されている。

史 通史編Ⅲ』の一由和入部
以前の六郷氏の章に、出自の地である仙北郡六郷時代のことや、第二の古里である石岡時代のことが記述されています。

会場

平成二十一年十月
三日(土)～四日(日)
午前十時から

豊島区民センター

三日(土)芸能まつり

三日(土)～四日(日)
作品展

※物産販売等も予定しております。

ふるごと

本荘ふるさと会”から、歌謡曲の部に菊池和夫、松本幸江、相撲甚句で工藤晋の三名が出席しますので応援をお願いします。

首都圏秋田県人会連合会
創立五十五周年記念事業
「小町のふるさと秋田文化
・芸能まつり」開催

編集後記

- 本荘ふるさと会の事務局が由利本荘市役所企画調整部企画調整課から、池田哲三会長方に変更になりました。近々新しい事務局体制が決定しますので会報でも発表してお知らせする事になりますが、会報の編集はとりあえず私は(工藤晋)が行う事になりました。今後は会員の皆様にも参加いただいた、親しみのある身近な内容をめざして発行したいと思いますのでご協力下さい。
- お盆に故郷に帰られた方がも多いと思いますが、日照時間の少ない夏だったので農作物への影響が気になります。本荘は昔から米所ですが、果樹栽培が多くなれば良いと勝手に思つたりします。
- 本荘高校野球部が今年は県大会決勝で敗れ甲子園への連続出場はならなかつた。本荘高校に勝つた明桜高校は甲子園一回戦延長で惜敗、これで秋田県は十二年間一回戦敗退となつた。レベルは低くない、あと一步頑張れ、故郷の球児たち。
- 鳥海山の櫟林は象潟側から矢島方面へと広範囲に渡る。由利の平野をうるおす良水、鳥海山の樅は郷土の宝です。



- 本荘ふるさと会の事務局が由利本荘市役所企画調整部企画調整課から、池田哲三会長方に変更になりました。近々新しい事務局体制が決定しますので会報でも発表してお知らせする事になりますが、会報の編集はとりあえず私は(工藤晋)が行う事になりました。今後は会員の皆様にも参加いただいた、親しみのある身近な内容をめざして発行したいと思いますのでご協力下さい。
- お盆に故郷に帰られた方がも多いと思いますが、日照時間の少ない夏だったので農作物への影響が気になります。本荘は昔から米所ですが、果樹栽培が多くなれば良いと勝手に思つたりします。
- 本荘高校野球部が今年は県大会決勝で敗れ甲子園への連続出場はならなかつた。本荘高校に勝つた明桜高校は甲子園一回戦延長で惜敗、これで秋田県は十二年間一回戦敗退となつた。レベルは低くない、あと一步頑張れ、故郷の球児たち。
- 鳥海山の櫟林は象潟側から矢島方面へと広範囲に渡る。由利の平野をうるおす良水、鳥海山の櫟は郷土の宝です。